

6. 今後の進め方



(令和元年6月3日)

お問合せ先

品川区 都市環境部 都市開発課 立体化担当
電話番号：03-5742-6961 (直通)
ファックス：03-5742-6942
住所：〒140-8715 東京都品川区広町2-1-36
ホームページ：<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

北品川駅 駅前広場について

東京都市計画道路 区画街路 品川区画街路第7号線



令和元年 8 月

1. はじめに

品川区では、京浜急行本線北品川駅駅前広場（品川区画街路第7号線）の整備について、令和元年6月3日に都市計画決定し、事業化に向けた準備を進めております。

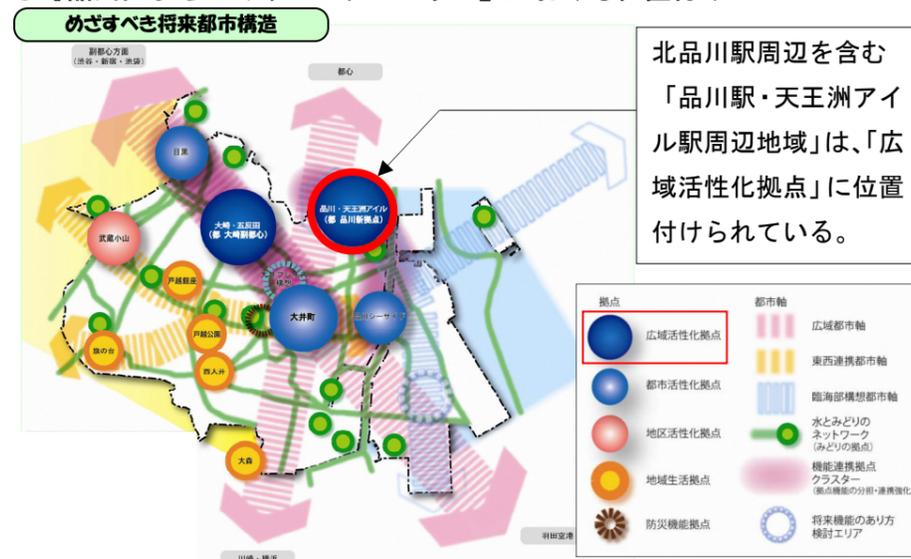
2. 北品川駅周辺地域の位置付け

『品川区まちづくりマスタープラン』では、北品川駅周辺地域は、複合市街地の形成が進む隣接地域との連携・強化を目指すとともに、国内外の来街者を迎え入れる品川駅の南の玄関口となる拠点形成を目指したまちづくりを進めるため、「広域活性化拠点」として位置付けられています。

また、東京都では、北品川駅の周辺にある3箇所の踏切を除却するため、京浜急行本線（泉岳寺駅～新馬場駅間）の連続立体交差計画を進めています。

品川区では、このような北品川駅周辺地域の位置付けを前提に、東京都の連続立体交差事業により変わりゆくまちの状況をとらえて、北品川駅周辺のまちづくりを進めていきます。

●『品川区まちづくりマスタープラン』における位置付け



3. 北品川駅周辺の課題

現在の北品川駅周辺には、以下のような課題があります。

まちづくりに関する課題	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道により、駅の東西が分断されており、街の一体感や回遊性が乏しい状況です。 特に電車の運行本数が多い時間帯には、踏切前が多く歩行者で混雑しています。 「広域活性化拠点」の駅であるにもかかわらず、駅前には、街の玄関口にふさわしい、待ち合わせ等ができる空間やイベント等ができる交流空間がありません。
交通に関する課題	<ul style="list-style-type: none"> 駅の改札前に溜まり空間が無く、特に朝の通勤・通学時間帯には、改札前の歩道に駅利用者があふれており、歩行者や自転車の安全な通行の支障となっています。 改札周辺の国道15号では、駅利用者がタクシーや一般車の乗り降りをするため、道路上に駐停車が発生しており、円滑な自動車交通の支障となっています。



踏切前の混雑状況



改札前の混雑状況



改札周辺の国道での駐停車（駅利用者の乗降）

4. 北品川駅周辺の道路と駅前広場の整備方針

北品川駅周辺の道路や駅前広場は、東京都の連続立体交差事業と連携し、まちづくりや交通の課題の解消に向けて、ユニバーサルデザインにも配慮しつつ、次の方針により整備します。

取付道路部分	<ul style="list-style-type: none"> 周辺道路から北品川駅の駅前広場へのアクセス道路を整備します。 アクセス道路は、北側から南の駅前広場に向う一方通行の道路とします。
駅前広場部分	<ul style="list-style-type: none"> 駅の東側には、地域の玄関口にふさわしい駅前空間として、イベント等も可能な歩行者中心の広場を整備します。また、旧東海道の景観にも配慮します。 駅の改札前には、駅利用者にとって、ゆとりある溜まり空間を整備します。 駅の西側には、タクシーやお身体が不自由な方が利用する車両等の乗降場を配置し、交通結節機能を強化します。また、朝夕の通勤・通学時間帯の混雑状況を踏まえ、溜まり空間を確保します。

5. 都市計画の概要

計画概要	東京都市計画道路 区画街路 品川区画街路第7号線
規模	取付道路部分 延長：約140m 幅員：6m～8m
	交通広場部分 面積：約2,300㎡

